



# 「夢」や「目標」をもつことの大切さ・・・大谷翔平選手の目標達成シートから

新年明けましておめでとうございます。令和6年、西暦2024年、そして令和5年度最後の三学期がスタートしました。

お正月はご家族で楽しく有意義な時間を過ごせたことと思いますが、日本全国に目を向けますと、甚大な被害となっている能登地震や羽田空港での旅客機の衝突事故等、各地で大きな災害が起きています。事態の速やかな収束と原因の究明等が進むことを心から願っています。

さて、三学期となり、各学年ともに締めくくりの段階に入ります。子どもたちはこの節目の中で「今年こそは…」と新しい年の夢を描いたり、目標を立てたりしていることと思います。それぞれの学年や立場に応じた夢や目標の設定は、その後の成長に重要な役割を果たします。

ここで、子どもたちに紹介したいのが、大谷翔平選手の「目標達成シート」です。大リーグでMVPやホームラン王等の様々なタイトルを獲得し、この度、ドジャースと1000億円を超える巨額の契約となった世界を代表するスーパースターで、その規格外の活躍や契約ばかりに注目が集まってしまいます。そのため、子どもたちにとって、自分の目標とするには遠すぎると感じてしまうこともあるかもしれません。しかし、彼の偉大さは野球の卓越した技術だけでなく、その「人柄」や「人間性」が土台となっていることに気づいてほしいと思っています。そして、その「人柄」や「人間性」は、努力を続ければ「誰もが身につけることができるもの」だということも知ってほしいです。

彼が高校1年生の時に「ドラフト1位で指名される」という目標を立て、そのために「必要なこと」を8つ上げ、そのそれぞれに8つの「やるべきこと」を決めています。主には野球の技術に関するのですが、その中に「運」と「人間性」という項目があります。その「やるべきこと」の中には、「あいさつ」「ゴミ拾い」「審判への態度」「礼儀正しさ」や「感謝の心」等、彼が大リーグで称賛されている行動が列挙されています。高校1年生で決めた目標のために「やるべきこと」を大リーグの一流選手になっても続けていることが分かります。そして、その行動は何ら難しいことではなく、「当たり前」のことばかりです。その「当たり前」の行動が、彼を世界中から「愛される存在」にしているのです。

子どもたちには、「目標」をもち、それに向かって自分が「やるべきこと」を見つけて、努力を「続ける」ことが自分自身を成長させるということ、大谷翔平選手の姿から気づいてほしいと願っています。

令和6年も、保護者の皆様、地域の方々、そして、本校教職員が丸となって、愛すべき葦高の子どもたちを育てていきましょう。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

校長 藤井 朗



大谷翔平選手の「目標達成シート」

真ん中に「目標」、その周りに目標達成のために「必要なこと」を8つ。そして、そのそれぞれに「やるべきこと」を8つ決めて実践を続ける。(合計64個)

体づくり	コントロール	体のキレ
メンタル	ドラフト1位指名	スピード160km
人間性	運	変化球

「運」のために「やるべきこと」

- ①あいさつ②道具を大切に使う。
- ③ゴミ拾い④部屋をそうじする。
- ⑤審判への態度⑥本を読む。
- ⑦応援される人間になる。
- ⑧プラス思考をする。

「人間性」を高めるために「やるべきこと」

- ①感性を磨く②思いやりをもつ。
- ③礼儀正しく④計画性をもつ。
- ⑤愛される人になる⑥継続力
- ⑦信頼される人間になる。
- ⑧感謝の心を忘れない。

